

「液化石油ガス安全高度化計画2030」の 取組状況について（関係事業者等）

2025年12月25日



一般社団法人

日本ガス石油機器工業会

アジェンダ

1. 概要
2. 消費者起因事故対策のアクションプラン
3. 販売事業者起因事故対策のアクションプラン

1. 概要

(一社) 日本ガス石油機器工業会では、液化石油ガス安全高度化計画2030のうち、消費者起因事故対策・販売事業者起因事故対策のアクションプランに対する主な取組みを報告する。

対 策	アクションプランの項目
<input type="checkbox"/> 消費者起因事故対策	
○CO中毒事故対策	・ 安全型機器及び設備の開発普及
○ガス漏えいによる爆発または火災事故防止対策	・ 安全な消費機器等の普及促進 ・ 周知等による保安意識の向上 ・ リコール対象品等の対応
<input type="checkbox"/> 販売事業者起因事故対策	
○その他事故対策	・ 他工事事故防止対策

2. 消費者起因事故対策のアクションプラン（その1）

アクションプラン

主な取組状況

〇CO中毒事故防止対策 ・安全型機器及び設備 の開発普及

小型湯沸器やガス暖房機器使用時には換気する。
安全なガス機器への取り替えのをおすすめを消費者セミナーで説明したりホームページで啓発している。

ガス湯沸器やガス暖房機をご使用の皆様へ

ご使用中は 必ず換気 をしてください

ガスが燃えるには、新鮮な空気が必要です。換気が不十分な状態でガス機器を使用すると、不完全燃焼によるCO（一酸化炭素）中毒を起し、死亡事故にいたるおそれがあります。ガス小型湯沸器やガス暖房機などのガス機器を室内で使用する際は、必ず換気をしてください。

ガス小型湯沸器 ご使用の際は、換気扇を回すか、窓を開けてください。

ガス暖房機 ガスファンヒーター・ガスストーブをご使用になるときは、1時間1～2回（1～2分）は窓を開けましょう。

換気は2ヶ所以上の窓を開けて、風の通り道を設けると効率よくできます。

こんな時には、決して換気扇を回さないでください！

浴室設置 C F 式ガスふろがま CF式（排気筒・排炭式）ガスふろがまを使用しているときは、ガス小型湯沸器や暖房機を使用しないでください。

浴室内に換気が滞り、CO（一酸化炭素）中毒になるおそれがあります。

安全なガス機器へのお取り替えのすすめ

異常を感じたら使用を中止してご連絡ください

ガス機器の使用中に火が通えたり、イヤなおいが出たり、炎の黄色、ススの付着、その他異常が見られた場合は、点検が必要です。詳しくはガス機器販売店又はメーカー相談窓口までご連絡ください。

1 点火する 2 火が通える 3 まだ火が通らない

ガス機器も長期使用していると、熱・湿気・ほこりなどの影響や部品の経年劣化により安全性を損ない、不完全燃焼が発生するとCO（一酸化炭素）中毒を起し死亡事故につながるおそれがあります。

不完全燃焼防止装置の付いた最新のガス機器に取り替えましょう

不完全燃焼防止装置付きガス湯沸器
不完全燃焼防止装置付きガスファンヒーター

ガスで広がるさらに快適・安全暮らし

屋内設置型の給湯器のお取り替えは、屋外型がおすすめ
屋外型給湯器は給気（換気）不足や排気筒腐食による室内への排気漏れ等の心配もなく安心してご使用いただけます。快適で安心な住まいのために、ぜひ屋外型をご検討ください。

一般社団法人
日本ガス技術協会
〒101-0046 東京都千代田区神田2-11
www.jgka.or.jp

03-5561-1111 JGKA 検索

新しい機器へのお取り替えは、
最近のガス機器販売店にご相談ください。

2. 消費者起因事故対策のアクションプラン（その2）

アクションプラン

○ガス漏えいによる爆発または火災事故防止対策

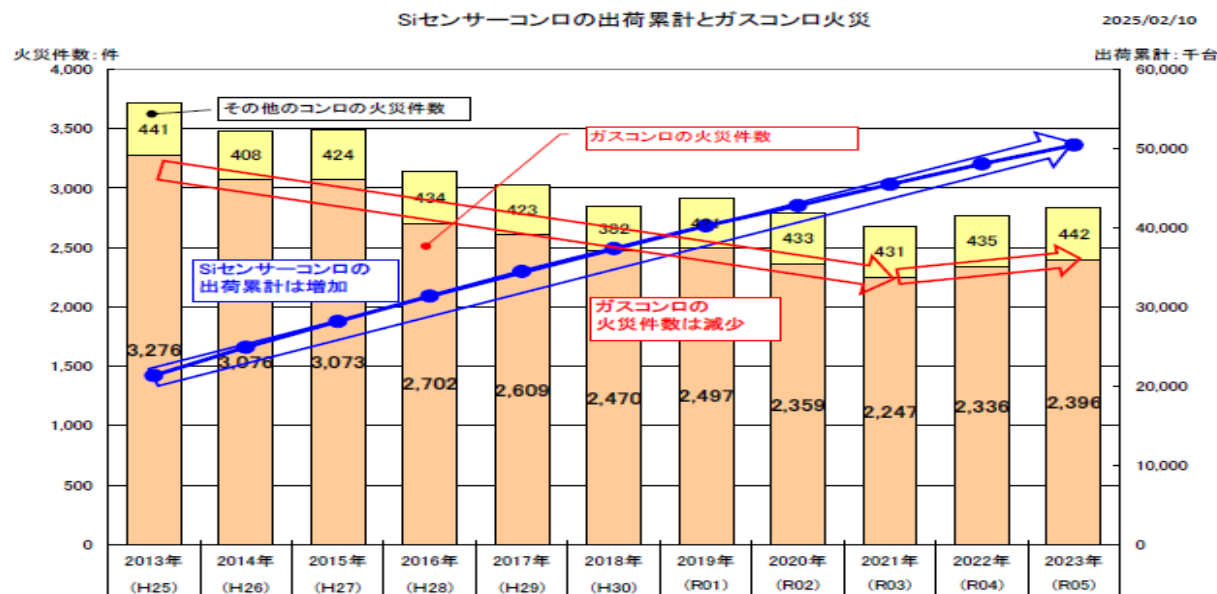
- ・安全な消費機器等の普及促進

主な取組状況

2008年から販売を開始したSiセンサーコンロの出荷台数が**2025年10月末**で累計**5,255万台**を突破した。

下記のグラフから分かるようにSiセンサーコンロの普及が進んでいくにつれて、火災件数については減少していき、現状ではピーク時の半数以下となっている。

今後も、ガス機器の安全性や利便性の向上に取り組むとともに一層の普及促進を図り、ガスのあるスマートな暮らしをサポートしていく。



3. 消費段階のアクションプラン ー周知・啓発ー（その1）

アクションプラン

- ガス漏えいによる爆発または火災事故防止対策
 - ・安全な消費機器等の普及促進
 - ・周知等による保安意識の向上

主な取組状況

①消費者対象の安全啓発活動として、全国消防を窓口にした婦人防火クラブを始めとする防火安全講習会等、全国女性団体連絡協議会主催の製品安全セミナーへ全国68会場に講師を派遣し、誤使用事故防止や安全型ガス機器や安全性の高いガス栓・接続具への取替えを進めている。



会場風景

日々の防火・防災

消費者向け防災講習 2024年度
※令和5年度 消防白書 7-79頁

ガス、石油燃焼機器の安全・安心な使い方

2024 1127

2015 製品安全対策推進企業

一般社団法人 JGKA 日本ガス石油機器工業会

セミナー資料

種類と安全機構				
ホースガス栓 (～1970年代半ば)	ホースガス栓 (1970年代後半～1980年代後半)	ヒューズ機構付ホースガス栓 (1980年代半ば～2010年代後半)	オンオフ機構付ホースガス栓 (1990年代～)	ガスコンセント (1990年代～)
ガス管用 ガス管用 (ホースエンドロ)	ガス管用 (ホースエンドロ) 又はソケット用 ソケット用 1.5kV 1.5kV 3kV 3kV	ガス管用 (ホースエンドロ) 又はソケット用 ソケット用 1.5kV 1.5kV 3kV 3kV	ガス管用 (ホースエンドロ) 又はソケット用 ソケット用 1.5kV 1.5kV 3kV 3kV	ガス管用 (ホースエンドロ) 又はソケット用 ソケット用 1.5kV 1.5kV 3kV 3kV
なし	なし	a. ヒューズ機構	a. ヒューズ機構 + b. オンオフ機構	a. ヒューズ機構 + c. つまみがない機構
×	×	○	○	○
×	×	×	×	×
×	×	×	×	×

安全機構
a. ヒューズ機構：接続したホースがガス栓より外れた時、ガスの流れを遮断する機構です。（試験対象：1983年11月15日）
b. オンオフ機構：接続時（ガス栓の取付）で、ガス栓が自動的に閉鎖する。（申請対象あり）
c. つまみがない機構：つまみがないため、申請時（ガス栓の取付）がありません。（申請時及び接続不良対策あり）
（ソケットに接続時に接続すると、ガスが漏れ出す。従って、ガスが止まります。）

※5年間の事故の60%は、「ガスコンセント」であれば防げた事故となります。
※古いガス栓は、安全性の高い「ガスコンセント」への交換をおすすめします。

Copyright © 2023 Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances All Rights Reserved

2. 消費者起因事故対策のアクションプラン（その3）

アクションプラン

○ガス漏えいによる爆発または火災事故防止対策

- ・安全な消費機器等の普及促進
- ・周知等による保安意識の向上

主な取組状況

- ②春と秋の全国火災予防運動に合わせ、全国805か所の消防署等に「ガス燃焼機器には寿命があります」、「ストップガスコンロ火災」等のチラシを合計**368,000**部配布した。



- ・寿命があります。 チラシ
- ・ガス燃焼機器 Q&A



- ・ストップガスコンロ火災 チラシ

- ③事故を未然に防止するため経年劣化がはじまる前に点検を実施するよう「あんしん点検 なるほど読本」を取りまとめ、ホームページに掲載し啓発している。



2. 消費者起因事故対策のアクションプラン（その4）

アクションプラン

主な取組状況

○ガス漏えいによる爆発または火災事故防止対策

- ・安全な消費機器等の普及促進
- ・周知等による保安意識の向上

- ④ 2020年から2024年までの5年間で、ガス栓とガス機器をつなぐガスコードやソケットで起きた事故を分析したところ、経年劣化に伴う製品事故（火災等）が増えている。また、製品事故（火災等）の60%が使用者の不注意が原因であった。事故を防ぐために安全啓発チラシを関連団体と連名で作成し、ホームページに掲載、今後消費者セミナー等で消費者に配布し注意喚起を行う。



2. 消費者起因事故対策のアクションプラン（その5）

アクションプラン

主な取組状況

○ガス漏えいによる爆発または火災事故防止対策

- ・安全な消費機器等の普及促進
- ・周知等による保安意識の向上
- ・リコール対象品等への対応

③経済産業省製品安全課のネットパトロール事業への協力。主にC to Cのネットモールで売り買いされている製品において、安全基準を満たさないPSマーク無し製品やリコール品をリストアップして、製品安全課へ提出した。

リコール品については、製品安全課からモール事業者に対し、削除指示を出して頂き、PSマークなし品については、モール事業者と意見交換を実施し、全て削除された。

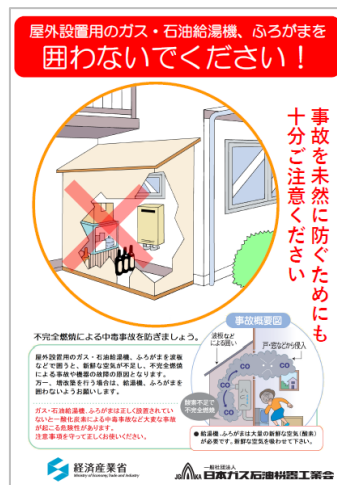
3. 販売事業者起因事故対策のアクションプラン

アクションプラン

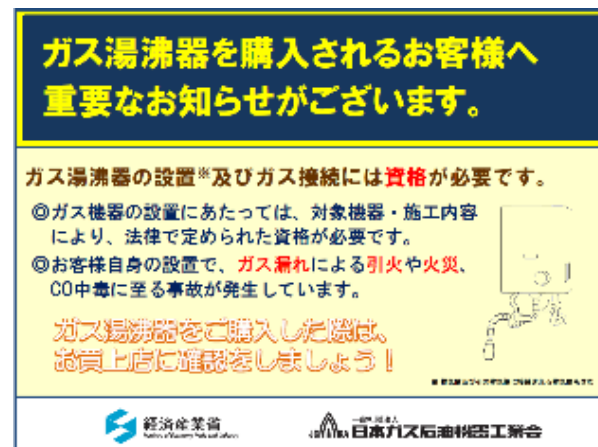
○その他事故防止対策 ・他工事事故防止対策

主な取組状況

- ①屋外設置給湯機の囲い込み禁止に関する注意喚起チラシを作成し、昨年度は経済産業省製品安全課の協力を得て、住宅リフォーム関連団体へ周知依頼を実施した。引き続きホームページで啓発している。
- ②ガス接続は資格が必要であり、消費者個人で行わないように小型湯沸器の有資格者による設置の周知チラシを作成し、昨年度、関連団体へ周知を依頼した。



囲い込み禁止チラシ



ガス接続は資格が必要 周知チラシ

以 上